

## 教育の理念

グローバル・メディア・スタディーズ学部は、駒澤大学建学の理念である仏教の教えと禅の精神に則り、グローバル化の進む世界におけるさまざまな問題を多角的にとらえる広い視野、複雑化・高度化の進むメディアを經由して大量のコンテンツが流れるしくみを理解し使いこなす知識とスキル、および学問領域にとらわれない自由な発想力と果敢な実行力を持つ人材を育成する。これを実現するため、当学部は、以下に掲げる「3つのリテラシー」を基礎としたうえで、社会科学系の諸学問分野を中心に、人文科学系および情報科学系にわたる幅広い学問分野で専門教育を行う。

グローバル・メディア・スタディーズ学部が基礎と位置付ける「3つのリテラシー」

- ・セカイのことば：ビジネスやその他の「現場」で実用に足るレベルの英語
- ・キカイのことば：デジタル社会を生き抜くために必要なコンピュータと情報のリテラシー
- ・シャカイのことば：巷に流通するさまざまな情報を読み解き自ら発信していけるメディアリテラシー

当学部は、当学部で学ぶ学生が、知識の習得にとどまらず、学内外の実践を通じて主体的に学び、身につけた合理的な思考力と深い人間性をもって、世界の人々と力を合わせ、困難な課題に果敢に挑戦し、よりよい世界の実現に貢献していくことを目標とする。

## 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

グローバル・メディア・スタディーズ学部は、教育の理念に基づいて定められた以下の4つの能力を身につけ、所定の期間在学し、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。

### （DP1）建学の理念を実践する力〔主体性・多様性・協働性〕

仏教の教えと禅の精神に基づき、自分をより高める自己形成と学問研究を密接に関連して行うことができる駒澤大学の学生としてのアイデンティティを備え、深い人間性をもってよりよい世界の実現に貢献する意欲を有している。

### （DP2）幅広い教養と専門知識〔知識・技能・思考力・判断力・表現力〕

当学部の学問的基礎となる諸分野（経済学、経営学、政治学、法学、国際関係論、情報学、コミュニケーション学、社会学など）の科目を幅広く履修し、教養的な基礎知識として身につけている。また、諸分野の中から自ら選んだ専門領域、およびその関連領域における専門知識・研究方法を修得し、これらの知識に基づきメディアとコンテンツの本質を理解することができる。

これら諸分野の確固たる知識にくわえ、グローバル・コミュニケーション・ツールである英語を使いこなす力を備え、グローバルな環境において、レポートや論文などの文章読解・作成、およびプレゼンテーションを行い、自らの考えを論理的かつ明確に伝える能力を備えている。

### （DP3）課題解決力と表現力〔思考力・判断力・表現力〕

修得した幅広い教養的知識、専門領域と関連領域の深い知識と研究方法を活用して、グローバル社会が直面する地球規模の問題解決に資するアイデアを見出し、その発想をわかりやすく、かつ効果的に表現することができる。

### （DP4）多様な他者を尊重し協働する力〔主体性・多様性・協働性〕

グローバルな環境で多文化共生社会を生きるグローバル市民として、多様な文化や価値観を理解し、他者を尊重し、国際感覚を持って協働していく能力を備えている。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と学習評価の観点のマトリクス表

◎：特に重点を置いている ○：重点を置いている			学習評価の観点							
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性	多様性	協働性
卒業認定・学位授与の方針	DP1	建学の理念を 実践する力						◎	○	○
	DP2	幅広い教養と 専門知識	◎	◎	○	○	○			
	DP3	課題解決力、表 現力			◎	◎	◎			
	DP4	多様な他者を 尊重し、協働す る力						○	◎	◎

※学習評価の観点は、中央教育審議会『新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について—すべての若者が夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために—（答申）』に定義された「学力の三要素」に基づく。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

グローバル・メディア・スタディーズ学部は、学位授与の方針を満たす人材を育成するため、多様な専門科目の習得が可能となる柔軟な履修制度を採用し、学生の自主的判断で学習計画を作成できるようなカリキュラムを提供する。このため、「教育の理念」に掲げる「3つのリテラシー」を身につける基礎科目を設けたうえで、種々の専門領域（経済学、経営学、政治学、法学、国際関係論、情報学、コミュニケーション学、社会学など）にわたる学際的科目を配置する。学生は、これらの中から自ら中核となる分野を選んで深く学ぶとともに、関連する諸分野の科目を履修し、自らの幅を広げていくことが期待される。さらに、これらの科目を基礎として、実践的な就業力を育成するための科目も提供する。

### 1. 教育内容

- 1) 仏教の教えと禅の精神について理解を深め、宗教に対する正しい認識と深い人間性を身につけることを目標とした「仏教と人間」を必修科目として開講する。
- 2) 初年次教育として、専門教育の基礎となる、グローバル化とデジタル化が進む現代社会で活躍するための必須能力（英語、情報、メディアのリテラシー教育）を必修科目として設定する。実用に足るレベルの英語力を修得させるため、外国人教員を中心とした少人数制の英語教育を行う。
- 3) 経済学、経営学、政治学、法学、国際関係論、情報学、コミュニケーション学、社会学など多岐にわたる専門科目群を設ける。それぞれの領域に関連する科目を系統的に選択必修科目として提供し、学際的な学びの基本とする。
- 4) 専門分野をより深く学習できる機会を与えるために、演習科目（ゼミ）を2年次から設定する。
- 5) グローバルな現場の第一線で活躍する専門家を講師に招く講義を実施し、学びを実践に活かす術を修得できる機会を提供する。
- 6) キャリアデザインの専門家を招き、卒業後のキャリアを自ら主体的にデザインしていくための科目を提供する。
- 7) 海外留学先で取得した単位を卒業単位として認定するだけでなく、海外企業でのインターンシップ、海外でのボランティア活動等に関しても、審査に合格したものは卒業単位として認定する（海外演習実践講座）。また、海外研修の準備学習と帰国後の振り返り学習についても、専門教育科目（Study Abroad）を通じて卒業必要単位として認定する。
- 8) 国内外のさまざまな教育機関等と連携し、学内にとどまらない学修の場を設け、多様な学びを可能にする。

### 2. 教育方法

- 1) 当学部の特色である多様な専門科目を柔軟に組み合わせて履修できるようにするとともに、留学などの機会を十分に活用することができるよう、 Semester制を採用する。
- 2) 長期・短期の留学、海外インターンシップなどの海外経験を可能とするために、幅広い専門分野の科目は、2年次以降柔軟に履修できるように設定する。
- 3) 学生が早い段階で自らのコアとなる専門分野を見つけ、必要な科目を適切かつ系統的に履修していくことができるようにするため、学生の興味関心、および想定される将来の進路を念頭に置いたコース・プログラム制を導入する。
- 4) 大学の外部との連携により産業界の今を知り、学生の就業力を高め、さらにはグローバル化の進む社会における経済成長の一端を担うリーダーを育成するため、最新のメディア、コンテンツ、IT、文化産業などを含むさまざまな実務の現場から第一線で活躍する専門家をゲスト講師として招き、専任教員との共同作業による授業を実施する。
- 5) 意欲と能力を備えた学生にさらなる学びの機会への道を開くため、一定の条件の下で、3年間の

在学で卒業し、本学大学院グローバル・メディア研究科（修士課程）に進学できる早期卒業制度を設ける。

### 3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程の編成・実施のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。 ○：重点を置いている。

分野区分		DP1	DP2	DP3	DP4	各科目群のねらい	
全学共通科目	宗教教育科目	◎			○	仏教の教えと禅の精神について理解を深め、宗教に対する正しい認識を身につける。	
	教養教育科目（人文・社会・自然・ライフデザイン分野）		◎	○	○	多角的な知識と深い教養を体系的に身につけることによって、公正な判断力を有する豊かな人間性を涵養する。	
		初年次教育科目			◎		高校までの学びから大学での学びへの転換を図り、自律的で自主的な学習態度を身につける。
		キャリア教育科目	○			◎	社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力を身につけるとともに、長期的な視点で将来設計を行い、社会に貢献することのできる能力を育成する。
		外国語科目		◎		○	社会人に求められる十分なレベルの外国語運用能力を身につけ、異言語・異文化に対する多角的な理解と教養を深める。
		保健体育科目				○	スポーツを通じて豊かでゆとりある社会生活を実践する能力を獲得し、生涯にわたる健康の増進や体力の向上を図る。
専門教育科目	必修科目	○	◎	○	○	実用に足るレベルの英語力、実践的な ICT 能力、メディアとコンテンツを理解するための基本的教養を身につける。	
	選択必修科目		◎	○	○	一定の選択肢の中から専門知識を系統的に選んで身につける。	
	専門科目		○	◎	○	より深い専門知識を身につける。	
	専門科目（ゼミ、卒業研究）	○	○	◎	○	少人数のゼミ形式により、研究および卒業論文の指導を行う。	

## 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

グローバル・メディア・スタディーズ学部では、駒澤大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

### 1. グローバル・メディア・スタディーズ学部の求める学生像

（AP1）駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

世界のさまざまな問題や身近な社会の課題に対し幅広い視点から関心を持ち、自ら選んだ領域において、大学で深く学び、身につけた力をその改善のために用いようとする意欲を有すること。

（AP2）入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得していること。特に「英語」および「情報」について、大学での学修に必要な知識、理解、技能を有すること。

（AP3）課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

合理性をもってものごとを考え、人間性への深い理解をもって判断し、状況と目的に応じてそれらを適切に伝えることができる力を有すること。

（AP4）他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

世界のさまざまな地域において、また身近な社会の中において、自分とは異なる多様な人々が存在することを理解し、彼らとともによりよい世界を実現するために協働していく能力を有すること。

### 2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

- ・グローバル社会におけるコミュニケーション能力の獲得に向けて、授業以外でも英語圏の報道や映像に触れる、英語を話し聞く機会を作るなど、英語 4 技能の運用能力の高度化に努める。
- ・日常触れている「情報」を誰がどのように発信し伝えているか、どのような技術によってそれが行われているかについて関心を持ち、メディアや技術の適切な利活用に注意を払いつつ情報収集・発信を行う
- ・日頃からさまざまなメディアの報道に触れ、学校で学んだ知識と照らし合わせながら、世界のさまざまな地域において、また身近な社会の中において、自分とは異なる多様な人々が存在するという意識を持ち、グローバル社会における課題に目を向ける
- ・興味を持ったテーマについて合理性をもった思考を用いて課題発見・分析に取り組み、その成果をまとめる
- ・部活動、留学、ボランティア等の活動を通じ、多様な他者と協働して目標を達成、もしくは課題解決に取り組む

### 3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
	S方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦選抜 (総合評価型)	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等		◎			
		面接・口頭試問	○	○	◎	○	
	自己推薦選抜 (特性評価型 (A方式))	出願書類	○	◎		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する、特に高等学校在学中に取得した資格等、特殊技能に秀でた学生の受け入れを目的に、書類審査および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	○	○	◎	○	
	自己推薦選抜 (特性評価型 (B方式))	出願書類	○	◎		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する、特に高等学校在学中に取得した資格等、特殊技能に秀でた学生の受け入れを目的に、書類審査および面接・口頭試問にて判断する。
プレゼンテーション		○	○	◎	○		
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	○	○	◎	○	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れ
		事前課題					

							れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。	
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
	指定校編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、かつ学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的とする。また、多様な経験を有する学生受け入れにより、学内の活性化を図る。	
		事前課題	◎	○	◎	◎		
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文等	◎	○	○	○		
		外国語等		◎				
		面接・口頭試問	◎	○	○	◎		
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
		面接・口頭試問	◎	○	○	○		
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。	
		日本留学試験(成績)			○			
		小論文等			○	○		○
		面接・口頭試問(英語)	◎	○	○	○		
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文等	○	○	○	◎		
英語			◎					
面接・口頭試問		○	○	○	◎			